

ニュー スキン ジャパン 株式会社
フォース フォー グッド
「ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金」
2016 年度 活動報告

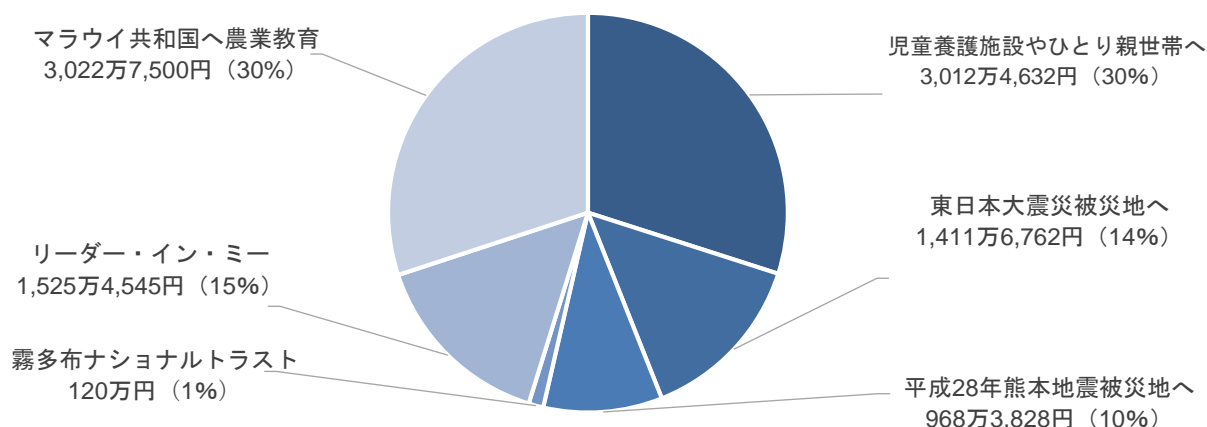


ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：小林 和則）は、「ニュー スキン ジャパン Force for Good* 基金」（以下 FFG 基金）の 2016 年度における活動状況を報告いたします。

FFG 基金は、未来を担う子どもたちを支援するためにスタートし、会員と社員による寄付が継続的に行われています。そして設立 10 周年を迎えた 2016 年からは、さらに支援の輪を広げるため、全製品の売上利益の 1% を子どもたちの笑顔をつくる活動に役立てる「One for Smiles」を開始しました。

2016 年度（1 月～12 月）に FFG 基金へ寄せられた寄付金は 1 億 60 万 7,267 円となり、基金設立からの累計寄付金額は 7 億円を超えました。

<2016 年度ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金 支援内訳>
2016 年度 寄付金額合計 100,607,267 円



2016 年は、東日本大震災被災地への継続的な支援をはじめ、支援を必要としている子どもたちへのサポートを続けると共に、平成 28 年熊本地震が発生した際には迅速に義援金を寄付いたしました。また、新たな食糧支援「セントラルキッチン」、学校変革プログラム「リーダー・イン・ミー」への支援を開始するなど、今後も子どもたちの輝く未来と笑顔をつくるさまざまな活動を強化していきます。支援の詳細は、次ページのとおりです。

*ニュー スキンが「人々がより豊かになるための力となる」という企業理念に基づき行っている社会貢献活動。

＜児童養護施設やひとり親世帯への支援＞

累計寄付金額 (2006年～2016年12月末)	2億7,786万円
--------------------------	-----------

■子どもたちに栄養を届ける支援

2016年度寄付内訳	
子どもたちへ食糧支援	1,800万円
フードフォーキッズ	600万円

児童養護施設や母子家庭で暮らす子どもたち7,000人へ、セカンドハーベスト・ジャパン（以下2HJ）を通じて食糧支援をしています。「フードフォーキッズ」では、103カ所の児童養護施設へ毎月食品を提供しました。

また、12月には女子プロゴルファー永井花奈選手、会員、社員の総勢30名が都内の児童養護施設を訪問し、子どもたちと一緒にお菓子や文房具をラッピングする「クリスマスギフトプラン」を実施。岩手県・宮城県・福島県にある15の児童養護施設と、保育園の子どもたちに届けました（700セット）。



児童養護施設の子どもたちへ食品を届ける



クリスマスギフトプラン 作業風景

■セントラルキッチンによる新たな食糧支援 【NEW】

2016年度寄付内訳	
セントラルキッチン	612万4,632円

2016年10月5日にオープンした、日本で初めてとなるフードバンクによるセントラルキッチン（大量の調理を1カ所で行う施設）の創設を支援しました。2HJが運営する「ハーベストセントラルキッチン」では、寄付された食材を管理栄養士を中心に、バランスのとれた食事に調理し、食べることに困っている人や子どもたちに提供します。現在は東京都足立区と連携し、週3回、ひとり親世帯や学習支援施設にお弁当や軽食を提供するなど、新たな支援プロジェクトを開始しています。



ハーベストセントラルキッチン



社員のボランティアによる調理

セカンドハーベスト・ジャパン（2HJ）について

日本初・最大のフードバンク。フードセキュリティネットの構築を目的とし、児童養護・母子支援・障害者支援等の福祉施設や生活困窮者などに食品の提供を行っている。フードセキュリティ（日常生活を送るために、安全かつ栄養のある十分な食べ物を適切な手段により得られること）に欠く人々に十分な食べ物を提供するため、2HJは食品企業、行政機関、宗教団体やNPO法人などと連絡を取り合い、食を通じた新しい社会づくりを目指している。2015年の食品年間取扱高は1,767トン、食数に換算すると400万食以上を提供したことになる。



<被災地への支援>

■東日本大震災被災地への支援

累計寄付金額 (2011～2016年)	2億7,077万6,612円
------------------------	----------------

2016年度寄付内訳	
亡くなった会員の子どもたちへの奨学金	108万円
スマイルライブラリープラン	771万6,901円
クリスマスギフトプラン	175万5,883円
キッツフォーキッズプロジェクト	356万3,978円

2011年の東日本大震災直後には義援金1億円を被災地へ寄付すると共に、ニュー スキン製品と救援物資を直接届けました。また、被災した子どもたちへ奨学金を寄付するなど、さまざまな支援を継続的に行っています。

2016年は、本をとおして子どもたちの笑顔をつくる「スマイルライブラリープラン」で、福島県南相馬市の全小学校15校に図書(3,479冊)と書架(15基)、文房具セットを寄贈しました。

図書は、各小学校からの希望を募り、地元の書店に発注するなど、子どもたちの希望や地域のつながりを大切に実施。2013年から今までの寄贈数は累計2万冊を超えました。



仮設校舎で寄贈した本を読む子どもたち



本を受け取る南相馬市の生徒たち

■平成28年熊本地震被災地への支援

累計寄付金額 (2016年)	968万3,828円
-------------------	------------

2016年4月14日の熊本地震発生後、被災地復興支援のため、熊本県へ500万円の義援金と共に、被災地で必要とされるニュー スキン製品や水を配りました。

6月に行われた「FFG Day 2016*」では、東京、名古屋、大阪、福岡のエクスペリエンスセンターで、会員と社員が協力し、文房具セットを作成。熊本県上益城郡益城町の全小学校5校(2,125名)の子どもたちを笑顔にするために、2HJと共に直接届けました。

*福島県南相馬市の全小学校15校(2,200名)分も作成。



FFG Dayでは文房具セットを作成



文房具セットを手取る益城町の生徒たち

■ リーダー・イン・ミーによる教育支援【NEW】

累計寄付金額 (2016年)	1,525万4,545円
-------------------	--------------

2016年度より一般社団法人 The Global Leadership Impact Fund Japan とメインスポンサー契約を結び、「リーダー・イン・ミー」の支援を開始。これはフランクリン・コヴィー社によって提供される「7つの習慣®」をベースにつくられた学校全体で取り組むプログラムです。

これにより、子どもたちはあらゆる場所や時間、活動の中で継続的にリーダーシップを学び、身につけていくことができます。現在、茨城県猿島郡境町の全小学校5校（1,200名）が3年間プログラムを実施しています。



授業研修を見学の後、境町長の橋本氏を表敬訪問



リーダー・イン・ミー プログラムテキスト

■ 霧多布湿原ナショナルトラストへの支援

累計寄付金額 (2000年~2016年)	4,940万円
-------------------------	---------

2016年11月、認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラストへ、霧多布湿原の保全活動や環境教育活動を支える車両を寄贈しました。

支援を開始した2000年からの寄付金は、霧多布湿原の買い取り保全地 850ヘクタールのうち約4割の土地購入に使用。また、湿原の保全をはじめ、地域の子どもたちへの環境教育や自然体験学習などに役立てられています。



寄贈した軽トラック

■ マラウイ共和国へ農業教育支援

2016年度寄付金額	3,022万7,500円
------------	--------------

2007年に開始したSAFI*では、何世代にもわたって家族が自立できるように、農業の生産性を高めるための知識や技術指導を行います。2016年度は1,008世帯、累計2,604世帯に広がりました。

マラウイ現地の環境に合わせたこのプロジェクトにより、販売用の作物も収穫できるようになった農家が増え、多くの家族の自立を支援しました。

*スクール オブ アグリカルチャー フォー ファミリー インディペンデンスの略（家族の自立を支援する農業学校）：ここでは近隣の村から約35の家族が選ばれ、学校に通い、農業経営、灌漑、栄養、畜産、および漁業について様々な農業分野について学びます。



SAFIのノウハウを教わった農業指導員が、各農家へ指導